

広報なすしおばら

NASUSHIOBARA Newsletter

12 / 5

December 2016 No.287

空 き 家

特集

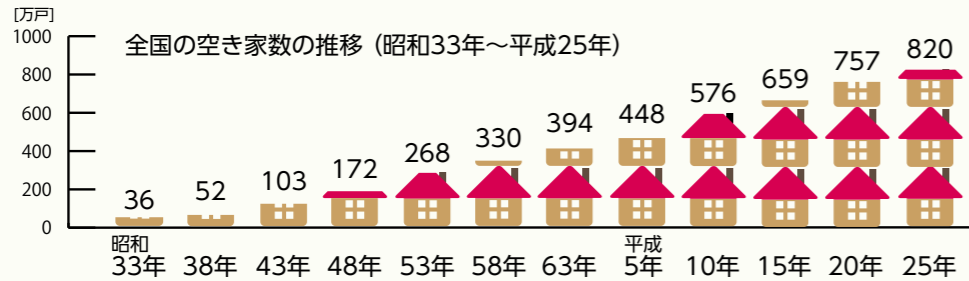
家に灯りを、まちに活気を

8 20万戸。平成25年の住宅・土地統計調査により明らかになった全国の空き家の数です。少子高齢化や人口移動の変化などにより、管理不全の空き家が、防災、衛生、景観などの生活環境に影響を及ぼす社会問題が起きています。空き家数は平成5年には448万戸でしたが、この20年間で増加の一途をたどり1.8倍にもなっています。また空き家率は、平成10年に初めて1割を超え、平成25年には13.5%となっています。居住者の死亡や転居、相続人が居住しないなど、多岐に渡る原因。たとえ、居住可能な状態であ



適切に管理されていないと、倒壊の危険性や景観の悪化など、周囲の環境への悪影響が懸念される

でも、自宅に対する愛着や他人が住む事に対する抵抗感があったり、家財道具や仏壇が残されていたりと、賃貸や売買が進んでいないのが現状です。このままでは、今後も増加すると考えられている空き家。今その対策が始まっています。



丁寧に管理している庭はとてもきれいで、空き家とは思えないほどの仕上がりになっている

これから残したいもの
兄弟は全員遠くに家を構えて生活。また、一人息子は東京で働き、戻ってくる見込みは少ないが、彼女はこれからは壊す気はないといっています。「私が生きている限り、この家を残していきたい」と思っているんです。家族の思い出の場所を残すため、そう意気込みを語りました。すぐにでも住めるように手が加えられた思い出の家は、近い将来、空き家ではなくなるでしょう。

き家になっています。
活用のためリフォーム
「住んでいなくても実家は実家。取り壊したり、売却したりすることには、抵抗があります」。美栄子さんは、この家を活用してほしいと、トイレや台所、廊下などを今年リフォーム。伸びていた庭木もご主人と2人でバツサリと剪定。庭木の張り出しや倒木などで隣近所に迷惑を掛ける心配はありません。前庭の植栽は一直線に揃えられ、空き家とは思えないほど管理が行き届いています。

ここは思い出の場所 生きている限り残したい——

空き家を案内してくれた
みえこ
高根沢 美栄子 さん

黒磯で生まれ育った彼女。黒磯駅から御用邸に向かう天皇陛下のお見送りなど、多くの思い出話も聞かせてくれた



リフォームした壁や床。家全体も築30年以上経過しているとは思えない。きちんと手を加えることで活用の道が開ける



き家になっています。
活用のためリフォーム

活用のためリフォーム

き家になっています。



美栄子さんは3人兄弟の2番目。兄は千葉、弟は埼玉で暮らしています。以前は、お盆や正月にこの家に集まり、食卓を囲むのが恒例でした。「息子や孫が集まると、決まって母はたく

みんなで囲んだ食卓

美栄子さんは3人兄弟の2番目。兄は千葉、弟は埼玉で暮らしています。以前は、お盆や正月にこの家に集まり、食卓を囲むのが恒例でした。「息子や孫が集まると、決まって母はたく

人に貸すことを決意

そんな思い出の場所も、放っておくと急激に腐朽が進みます。週に数回の空気入れ替えや伸びた庭木の手入れ。「自宅から遠くありませんが、大変な労力が必要でした」と当時を振り返ります。そこで、人に貸し出すことを決意。不動産屋に相談し、今までに3世帯がこの場所で暮らしました。しかし、最後に住んでいた人も新居を構えるということで、現在はまた空

さんのちらし寿司を振る舞いました。そう語る彼女は昔を懐かしむかのように、少し遠くを見つめました。居間の掘りごたつにみんなで足を入れ、おせち料理をわけあった正月はもう戻りません。



空き家

特集 家に灯りを、まちに活気を

庭付き一戸建てのマイホーム。その場所には家族の笑顔が溢れていました。しかし、時代の流れとともに笑い声は少しずつ消え、やがて静寂が訪れます。

日本全国で増え続けている空き家。

管理が行き届いていない空き家の増加により、倒壊の危険や衛生上の問題などが指摘されています。

空き家の内側には、そこで暮らした人々の思い出が。

壁を隔てた外側には、今も周囲で暮らしている人々の生活があります。

あなたは、空き家を持っていますか。周囲に空き家はありますか。

今住んでいるその家の、そう遠くない未来のこと、少しだけ考えてみませんか。

今から33年前の昭和58年。東京デイズニールンドが開園した年。通りから少し入った閑静な土地に、子どもが独立し、両親が2人で住むために建てた家は、今は主を失い、ひっそり佇みます。美栄子さんのお母さんが亡くなったのは18年前。少し足が悪かった父。1人では生活に支障が出るので、市内に住む美栄子さん夫婦と同居することに。それを機にこは空き家となりました。

空き家問題の解決に向けて

～課題と背景、市の現状を探る～



まちの印象を左右する空き家 住民間のつながり深めることが解決への第一歩

三橋 伸夫 氏
市空き家対策審議会会長。宇都宮大学副学長(地域デザイン科学部建築都市デザイン学科)

管理が行き届いていない空き家が周囲の人へ与える心理的な悪影響が懸念されます。適切に管理されていれば別ですが、草が伸び、朽ち果てた建物を毎日見ていたら、誰しもネガティブな気持ちになることでしょう。そのような空き家が点在していると、まち全体の印象が暗くなるなど、負の影響を受ける恐れがあります。

管理不全の空き家が生まれる背景を考えると、世間の人間関係が希薄になっていくことが関係しているように思います。近所との繋がりが強ければ、空き家を放置することに抵抗感が生まれ、歯止めとして作用することも考えられます。空き家はあくまで個人の財産ではありますが、全て個人の問題として完結



**希薄になる「近所付き合い」と
空き家増加の関係**

できるケースは少ないと思いますが、個人は世間を構成する一員。世間への影響を考えなければなりません。

**住んでいる地域に関心を持つ
それが解決の糸口**

万が一、空き家の所有者になっても、活用できる方法はさまざま。地域の高齢者の集会所や、子育て世代が交流する場所として空き家を開放する事例も全国にはあります。しかし、空き家所有者と周囲の人とのつながりがなければ、活用に至る話し合いすら出来ません。まずは、そういった地域の関係性を築くことが第一。近所への関心を持ち、空き家があったら自治会や行政へ相談することから始めましょう。

市内でも増える空き家。市は対策を進めるため、今年4月に条例*を施行。8月から市内全域の実態把握の調査を行いました。その結果、明らかになったその数なんと3,073戸。同じく8月に設立した市空き家対策審議会で、空き家対策の推進と適正管理の審議を進めています。空き家問題の背景や解決に向けた取り組みについて、各分野の専門家に話を聞きました。

親族で事前に話し合うなど、空き家になる前に対策を

室井 淳男 氏
市空き家対策審議会委員。弁護士(浅香法律事務所)。栃木県弁護士会会長

**空き家は個人の財産
求められる適切な管理**

近年、管理の行き届いていない空き家が増えています。屋根や塀が壊れ、人にケガなどをさせてしまった場合には、空き家の所有者が損害賠償を求められることもあります。これは、民法に規定されており、一般的に空き家の管理責任は所有者にあるということです。空き家はあくまで個人の財産。他人が勝手に手を加えることはできません。そのため、所有者は責任を持って、日頃の適切な管理に努める必要があるのです。

よく聞くのは、所有者が亡くなり、子が相続したものの遠隔地に住んでいるため、空き家になってしまいうケース。この場合にも、何か事故が起これば、管理の責任を問われることもあり



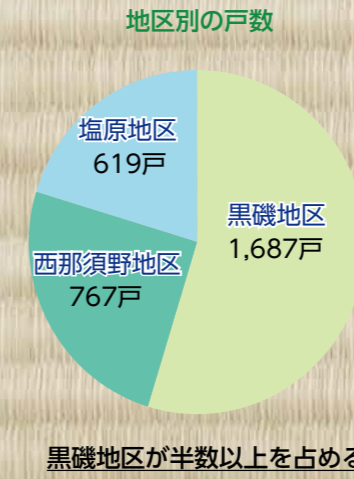
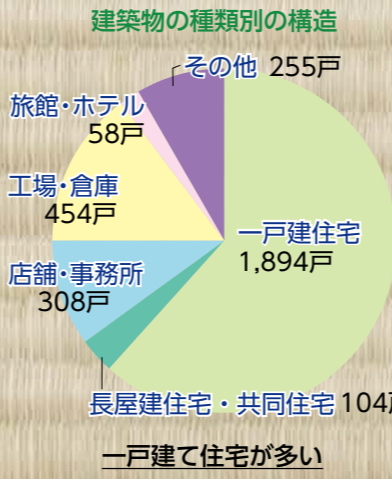
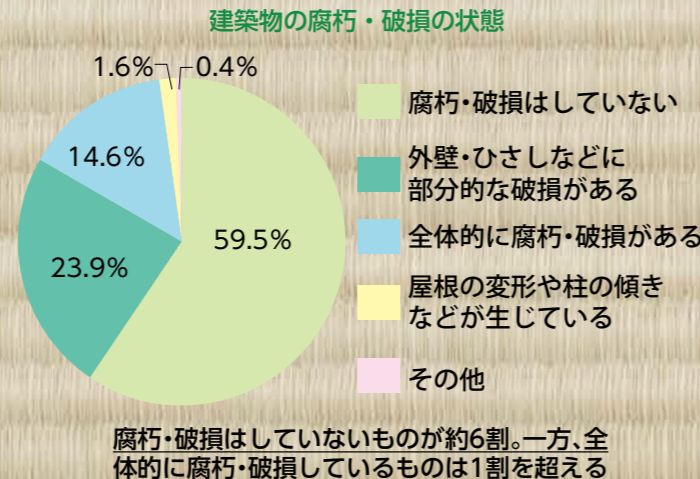
遺産の相続放棄は、相続開始を知ったときから3カ月以内を決めなければならぬため、考える時間は限られています。そのため、将来空き家になってしまいう可能性があるのであれば、生前から相続などについて家族で話し合っておきましょう。また、弁護士や司法書士などに相談するのも有効です。遠い未来の話だと考え、先延ばしにしてしまいがちですが、空き家になる前の対策が重要と考えます。

今から始められる対策を

*那須塩原市空き家等対策の推進に関する条例
空き家対策に関して必要な事項を定め、所有者などが空き家の適正な管理を行う責務が明らかになりました。



空き家対策審議会
学識経験者や建築・不動産関係者、自治会長などのメンバー8人で構成し、空き家対策・適正管理について調査・審議している



市内の現状

調査により明らかになった市内の空き家の実情。地区別にみると西那須野地区では“店舗・事務所”の割合が大きく、塩原地区では“工場・倉庫”や“ホテル・旅館”の割合が大きいなど、地域の特徴が反映されています。“腐朽・破損はしていない空き家”も多いことから、活用の可能性が残されています。

地域で異なる実情 その背景にあるもの



一戸建て住宅が多い黒磯、
店舗・事務所の割合が高い西那須野、
旅館やホテルが多い塩原。

まちの成り立ちが違うため、抱える事情もさまざま。
各地区で起こっている問題や背景を探ります。



駅西商店会長(西那須野) 菊池 一夫 氏

商店街に活気を戻す ターゲットは若い世代

駅西商店会は、もともと駅前通りと桜通りに囲まれた比較的狭いエリアの商店会でした。しかし、高齢化などに伴い店舗の減少が予想されたため、現在は広範な地域からメンバーを募って活動しています。私も途中から加わった1人です。駅前という立地の難点は、駐車場の確保が難しいこと。車社会なので、駐車場が無ければ商売は難しいのが現状です。空き店舗を活用して出店しようとしても、駐車場の確保が最終的に問題になることもあるでしょう。また、便利で安い大型店に負けないよう、お店の魅力を高める多くの努力が必要です。

商店街にお客さんを呼び、 取り戻したいまちの活気

ありがたいことに、この地域へ新たにお店を出してくれる人がいるため、空き店舗や空きテナントは点在しているもの、多くはないという印象です。空き店舗対策というわけではありませんが、商店会では、この地域に人を呼び込むためのイベントを毎年開催しています。お客さんが多く訪れる地域であれば、出店希望者も増え、空き店舗が生まれにくくなると思うので。現在は、これまで商店街に馴染みがなかったような若い世代に来てもらえるよう、イベントの内容も工夫しました。

商店会も世代交代

この商店会が世代交代したのは8年前。それまで父親の世代が商店会を引っ張って来ていましたが、私たちの世代にバトンが渡されました。毎年8月のイベントは、まず自分たちが楽しいものにしなから、お客さんも楽しんでもらえるように心掛けています。イベントをきっかけに商店街を知ってもらい、それぞれのお店に足を運んでもらえたら最高です。



弥生町自治会長 福田 廣志 氏

「空き家」と「危険」、隣り合わせ

弥生町は黒磯市街地に位置する170戸ほどの自治会。子どもの頃から60年以上にわたってこの地域を見てきましたが、近年、家屋数の減少に反して、空き家の数は増えています。敷地から木の枝や雑草が張り出して通行の妨げになったり、不審者の出入りが目撃されたりと、住民の方々から不安の声をいただくこともあり。空き家の庭で物が燃えたボヤ騒ぎもありました。こうしたことは、住民の安全に大きく関わる問題なので、地区全体で「気を付けていこう」ということになりました。しかし、いくら空き家でも勝手に個人の所有地に

危険な空き家は増えるばかり 地域での対策を模索しています

横のつながりを強化し、守る。空き家問題を深刻化させていると感じるのが高齢化だと思えます。子ども世代が外に転出してしまい、地区に残るのは高齢の親世代ばかり。その親世代もいなくなれば、家は空き家になるでしょう。他にも、横のつながりが昔に比べると薄くなっている。「気づいたら隣が空き家になっていった」「自宅の隣にどんな人が住んでいるか知らない」など、自治会の運営面でも頭を悩ませる原因になります。だからこそ弥生町では「地区の安全は自分たちで守ろう」と、2年前に見守り隊を結成しました。歩いて周囲を見回ると、「配慮が必要な人が越してきた」「危険箇所がある」など、地区で共有すべき情報の発見につながります。家庭の事情などで空き家になるのは仕方ありませんが、地域でできる対策がないか模索しています。

未だに残るバブル崩壊の爪痕

現在、旅館組合に加盟している旅館やホテルの数は52件。20〜30年前の最盛期の頃には100件弱ありましたので、半減したことになります。当時は浴衣姿の宿泊客が通りを行き交い、飲み屋やおみやげ屋は人で溢れ、まちは活気に満ちていました。そんな観光地もバブル崩壊とともに、お客様が減少。これに拍車をかけたのが旅行形態の変化です。主流の団体旅行から個人旅行へと変わったことで、観光客数の減少はさらに進み、廃業する旅館もだんだんと増えてきました。ここ5年間で7件ほどが廃業しているんです。

バブル崩壊後に変わったまち その再生に取り組んでいます

この中には経営者が変わって再度旅館としてオープンしたものもありませんが、空いたままの状態になっているものが大半。特に塩原温泉の玄関口であるJRバスターミナル前は空き家が並んでおり、お客様に寂しい印象を与えてしまっています。駅前の整備だけでも、何とかできないかと考えています。

**再生をかけて取り組む
春と冬の誘客**

夏は避暑地として、秋は紅葉の名所として、観光客が訪れてくれますが、冬は寒く、雪が降るため客足が伸びません。そこで、まちの有志が集まって手作りの「竹灯籠」を温泉街に飾り付け、「塩原温泉竹取物語」と銘打ったイベントを始めました。幻想的で本当にきれいですよ。

春の話題作りのために、白や赤、ピンクの綺麗な花をつけるハナモモの植栽も行っています。目標は3千本。少し先の話ですが、そのハナモモが満開になった時、温泉街ににぎわいが戻れば幸いです。



塩原温泉旅館協同組合理事長 君島 則夫 氏

※弥生町は、居住困難な廃屋の数が市内で最も多かった(平成26年那須塩原市DID地区空家実態調査)

市内にある3,000戸以上の空き家。その背景には、時の流れと多くの人の人生があります。
 空き家を持って困っている人。地域に空き家が増え困っている人。そして、空き家を活用したい人。
 市では、今年空き家バンクを開設し、所有者と利用希望者をつなぐ取り組みを始めました。
 道のりは長いかもしれませんが、一つ一つの小さな積み重ねが、遠い将来の問題解決に繋がります。

空き家バンクを活用しませんか 問い合わせ 国都市整備課 ☎0287(62)7162

- 1 空き家所有者が「売りたい」・「貸したい」物件を登録
- 2 市と不動産業者が現地で物件を調査
- 3 空き家バンクに登録し、市ホームページなどで公開
- 4 情報を見た人が利用希望者に登録
- 5 不動産業者の媒介により、見学・交渉・契約



各種補助金を用意しています
 空き家バンクを利用して空き家を購入し、定住する意思のある人で、条件を満たす人に補助金を交付します。

- 1 **登録建物リフォーム補助金**
 - ▶対象 建物をリフォームする空き家購入者
 - ▶条件 生活するために必要な部分のリフォームであること。経費が5万円以上かかり、市内業者が施工すること
 - ▶補助額 経費の2分の1(上限50万円)
- 2 **利用子育て世帯転居補助金**
 - ▶対象 18歳未満の子と同居する空き家購入者
 - ▶補助額 該当する子ども1人当たり5万円
- 3 **利用契約媒介手数料補助金**
 - ▶対象 不動産業者に媒介手数料を支払った空き家購入者
 - ▶補助額 媒介手数料の2分の1(上限10万円)

市空き家等対策計画に対する皆さんの意見を募集します

市と空き家などの所有者の責務を明らかにするとともに空き家等対策に関して必要な事項を定めるところにより、生活環境の保全と安全に安心して暮らせるまちづくりの推進を目指しています。空き家などの適正管理や利活用の促進などのさまざまな施策を総合的かつ計画的に実施するための計画を策定します。

《あなたの身の回りのこんなところに関係します》
 空き家などの適正な管理、利活用、除却、情報提供・相談体制など

- ▶意見を出せる人 市民、市内勤務・通学者、市内に事務所・事業所を持つ個人や法人、本件に利害関係を有する個人・法人・その他の団体
- ▶提出方法 意見書の様式(閲覧場所が市ホームページから取得)に氏名、住所、意見を記入し、意見提出先に持参、郵送、FAX、メールのいずれかの方法で提出
- ※意見書には氏名と住所の記入が必要で、電話での受け付けはできません。
- ※個人情報目的以外には使用せず、公表しません。また、提出された書面の返却はできません。
- ▶意見の公表 提出された意見の内容や市の考え方を取りまとめ、窓口や市ホームページで公表します。なお、本件に直接関係がない意見には市の考え方は示しません
- ▶募集期間 12月5日(月)～1月5日(木)
- ▶閲覧場所・意見提出先 国都市整備課、国市民福祉課、国総務福祉課、箒根出張所
- ▶問い合わせ 国都市整備課 共壘社108-2 ☎0287(62)7162 FAX0287(62)7224 ✉toshiseibi@city.nasushiobara.lg.jp

空き店舗を活用し、創業に挑む開拓者たち



この地域の礎を築いた明治の開拓者。
 彼らは不毛だったこの地に「那須疏水」を築きました。
 100年以上経った今もその恩恵を受けて暮らす私たち。開拓精神は時を越え、脈々と受け継がれています。

美容室 Room ☎0287(36)8888
 所在地：三島1丁目24-12
 営業時間：午前9時～午後8時
 定休日：火曜、第3月曜



荒井 政子 さん

小学生の頃から憧れていた美容師の仕事。高校卒業後に美容学校へ進み、美容師になって19年。荒井さんは、この度念願だった自分の美容室「Room」をオープンしました。内装は手作り仕上げという白とブラウンのナチュラルな空間は「髪だけでなく、心もリラックスして欲しい」という彼女の心遣いが表れる、とても雰囲気の良い空間に。「助けてくれる人がこんなにもいるのだとあらためて実感し、感謝と感動の毎日です」。開店にこぎ着けた今、たくさんの人の協力が大きな支えになっているようです。このまちでチャレンジを始めた荒井さん。培ってきた技術と持ち前の笑顔は、多くの人びとに素敵な髪型と癒しを与えてくれることでしょう。

足つぼ ビリケン ☎0287(63)5588
 所在地：末広町53-44
 営業時間：午前10時～午後8時(最終受付午後7時)
 定休日：不定休



松本 宏勝 さん

大阪の通天閣にあり、足の裏を撫でると幸せが訪れるとされる幸福の神様「ビリケン」。「足の裏を揉むことで、みんなを幸せにしたい」との想いを込めて、松本さんは念願の足つぼリフレソロジー「ビリケン」を開きました。隣町のお店で下積みすること4年。職場の先輩たちが次々と独立していく姿に憧れ、創業を決意しました。「悩むこともありましたが、人のご縁とさまざまな支援、そしてタイミングがぴったり重なり、オープン出来ました」と周囲への感謝を語ります。「体調が悪くなった時などに、頼りにされるお店になりたい」。松本さんの目には、自然と力が入ります。足の裏を刺激することで、体の自然治癒力を高める足つぼ。一度お試しになってはいかがでしょうか。

焼肉 えん ☎0287(53)7770
 所在地：西大和190-52
 営業時間：午後5時～午前0時
 定休日：火曜



八木澤 航 さん

「特別な日に特別なお肉を安く味わえる場所があれば」。そう話すのは、今年10月から焼肉屋を経営している八木澤さん。「清潔感と快適さを重視し、徹底的に改装しました」との言葉通り、白を基調とした店内には、ゆったりと寛げる空間が広がっています。「駅前の活性化に貢献したい」と、5軒ほど空き店舗を見て回り、今の物件に決めました。決め手は貸主の人柄。「賃料交渉や改修にあたり、柔軟に対応いただき感謝です」と話します。八木澤さん自身も花火大会の実行委員として活動するなど、「まちを盛り上げたい」という思いを持つ人柄。独自の流通で仕入れるこだわりのとちぎ和牛と、「笑売」をモットーにしたサービスは、極上のひとときを提供してくれること間違いなしです。

チャレンジショップ事業 問い合わせ 市商工会 ☎0287(62)0373
 西那須野商工会 ☎0287(36)0697

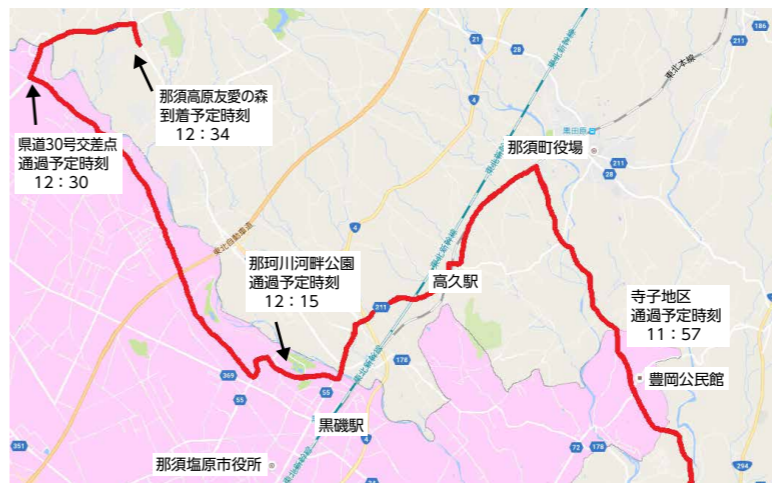
中心市街地に空き店舗を借りて、新しくお店を開業する時に受けられる補助金がありました。市商工会・西那須野商工会では、市内中心市街地の活性化を図るため、市内中心市街地の空き店舗を賃借して創業される方に対して、家賃の一部を助成しています。

- ▶補助内容 家賃の1/2(上限50,000円/月)・補助期間12カ月以内(敷金、礼金、保証金、管理費、共益費その他これらに類する費用を除きます)
- ▶対象要件 3カ月以上使用されていない空き店舗を賃借し、小売・飲食・サービス業を創業する個人や法人

01 国際自転車ロードレース「ツール・ド・とちぎ」3月に開催決定

平成29年と30年に栃木県全域を舞台として行われる、国際自転車競技連盟公認のロードレース「ツール・ド・とちぎ」。その第1回大会が、来年3月31日から4月2日の3日間にわたり開催されます。本市は大会2日目(4月1日)の第2ステージの一部がコースとして設定されています。

今後、詳細が判明次第、お知らせしていきます。
▼問い合わせ
○函スポーツ振興課 ☎0287(37)5439



◆ツール・ド・とちぎ 第2ステージ
▼とき 4月1日(土)
▼走行距離 112.7km
▼コース
茂木町(スタート)→那須烏山市→那珂川町→大田原市→那須町→那須塩原市寺子地区→那須町→那須塩原市→那須高原友愛の森付近(ゴール)
写真はイメージです

04 市公式ホームページが12月1日、リニューアルしました

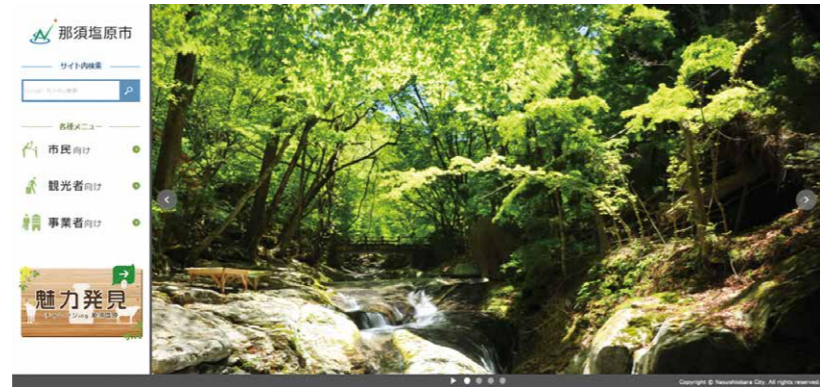
新しいホームページでは、より情報が取得しやすくなるよう、次の特徴があります。

- ①総合トップページを設置
市の特徴的な写真を表示し、まちの魅力をアピール。訪問者が迷わないように利用目的ごとの入口を用意。
 - ②シンプルな構成
情報の種類に応じて項目を整理し、シンプルで見やすいデザインに。
 - ③内容の充実
市の魅力を伝えるページを新たに作り、観光情報のページも写真を中心にリニューアル。
- ▼問い合わせ
○コンテンツプロモーション課 ☎0287(62)7529



↑市民向けトップページのイメージ

↓総合トップページのイメージ



新しいホームページを見るにはこちら

02 「教育振興基本計画(素案)」への皆さんからの意見を募集します

人口減少社会の到来や国際化の一層の進展など、教育を取り巻く環境が大きく変化しています。そこで、教育施策を総合的かつ計画的に推進するため、今後5年間の教育施策の基本的な方向性を示す計画を策定します。皆さんの意見を聞かせてください。



▼募集期限 12月16日(金)
▼閲覧場所・問い合わせ
○函教育総務課 ☎0287(37)8649
FAX 0287(37)5479
✉c-kyouiku@city.nasushiobara.g.jp

03 11月20日執行 栃木県知事選挙の投開票結果

【投票結果】

当口有権者数	9万6345人
投票者数	2万8751人
投票率	29.84%



【開票結果】

届出順	候補者氏名	党派名	本市の得票数	県全体の得票数	結果
1	福田とみかず	無所属	2万3494票	42万2544票	当選
2	小林としはる	無所属	4833票	11万4814票	

▼問い合わせ
○選挙管理委員会事務局 ☎0287(62)7183

05 「還付金+携帯+ATM」は詐欺の証し

市役所職員などを名乗り、医療費や税金などの「還付金(戻り)がある」と言って、ATMに誘導し、お金を振り込ませようとする不審な電話が相次いでいます。



▼還付金がATMの操作で戻るとは絶対にありません。不安に思ったら、消費生活センターや警察に連絡してください。
▼連絡先
○那須塩原市消費生活センター ☎0287(63)7900
○那須塩原警察署 ☎0287(67)0110

06 あなたの家の火災警報器 電池が切れていませんか

平成18年に住宅用の火災警報器(住警器)の設置が義務付けられてから約10年が経ちます。機種にもよりますが、住警器の寿命は約10年と言われています。古いものは電池切れや部品が劣化し、正常に動かなくなる恐れがあるので、早めの交換をお勧めします。



▼問い合わせ
○住宅用火災警報機相談室 ☎0120(565)911
○那須消防本部予防課 ☎0287(28)5103

07 功績をたたえて
市表彰式・教育委員会感謝状贈呈式

◆市表彰式
市の発展や市民福祉の向上などに功績のあった、84人1団体の表彰を10月29日に行いました。

【受賞者一覧】

- 地方自治
秋元功、小此木一明、君島弘晃、相馬昇、田渕まさ子、大野一広、齋藤茂子、原孝志、渡邊友香
- 社会福祉
岩畑謙一、金子實、高橋智純



○保健・衛生・環境

- 井上久子、岡本恵子、相馬朋子、高野ユキ子、藤田久子、山本雅子、渡邊紀江子、五江渕カオル、佐藤啓子、鈴木よし子

○消防・水防・防犯・交通安全

- 猪鼻新一、白井弘幸、大塚明、大野和宏、大野博之、岡鉄之、落合健太郎、菊地茂治、君島晃一、君島雅人、古森昇、坂井和宏、鈴木智、相馬尚人、高根沢一郎、高根沢勇一、月井智、月井正人、手塚崇史、手塚秀人、人見典男、藤川文弘、藤田健司、藤田孝平、星光幸、松本勉、松本寛、村上貴行、八木沢広樹、柳沼佳邦、渡邊有、奥田紀子、齋藤恵子、津田喜代子

○教育・文化・スポーツ

- 中川良英、原真、藤田健一、森山俊男、渡邊敏郎、印南秀之、坂元晴彦、武田敏康、馬渡亮司、君島典子、磯幸二、遅澤淳一、鈴木伸彦、須藤久子、樋口博美
- ボランティア活動
磯勝子、大金三郎、大森セツ子、五江渕斌、佐々木啓子、佐藤由紀子、相馬一男、本多シツカ、

- 室井房江、山崎幸子、吉川明美
- 金品の寄附
金子康男、三木俊治、株式会社TKC
(敬称略、順不同)

▼問い合わせ
○秘書課

☎0287(6)7108

◆教育委員会感謝状贈呈式

市の教育発展に功績のあった21人3団体に対し、11月12日に開催された「なしお博」の開会式において感謝状を贈呈しました。

【市長感謝状】

- 社会教育委員
伊澤昭夫

○金品の寄附

- きくち内科クリニック、綱川秀人、株式会社藤光電気工事、黒磯ロータリークラブ、社会医療法人博愛会菅間記念病院理事 長山崎範子

【教育委員会感謝状】

- 奨学資金貸与基金運営委員会委員
石塚瑛子、川島勝子

- 就学指導委員会委員
大和田博



○少年指導員

- 八木澤康三、楠木崇

- 那須野が原博物館協議会委員
田代芳寛

- 公民館運営協力委員
藤田行男、益子丈弘、松本和彦

- 田舎ファンド鴨内管理運営協力委員
鈴木光子、田代道男

- スポーツ推進審議会委員
丹羽芳雄

○金品の寄附

- 阿見伸二、田代五朗、齋藤裕子、大桶喜久治、室井忠道、真中満
(敬称略、順不同)

▼問い合わせ
○函教育総務課

☎0287(37)5231

子育て連絡帳

子育てに悩んだら行ってみよう！(1月)

育児相談

育児の不安、1人で悩まないで。お話しにきませんか。

保健師や栄養士などによる相談を行っています。お気軽にお越しください。

とき	ところ
12日(休) 午前9時30分～11時	黒磯保健センター
19日(休) 午後1時30分～3時	西那須野保健センター

※西那須野保健センターは事前の申し込みが必要です。

母親学級

お母さんになるための準備、みんなで一緒にしましょう！

妊婦さん同士の話し合いや体験学習をします。ママ友づくりの場にもなっていますよ！

とき	ところ
16日(月) 午後1時30分～3時	西那須野保健センター

テーマは、「産後のイメージづくりとみんなでトーク」家族の人(お父さんになる人)も、ぜひ一緒に参加してください。

※予約制になりますので事前に申し込んでください。

▶予約・問い合わせ

黒磯保健センター
☎0287(63)1100
西那須野保健センター
☎0287(38)1356

小さいお子さんも知らぬ間に喫煙者!?

たばこは、吸っている本人の健康に悪影響を与えることは知られています。しかし、吸っていないはずの周りの人に対しても影響が大きいことをご存じでしょうか。これは喫煙によって生じた煙(副流煙)を、たばこを吸わない周りの

★その吸い方では、受動喫煙は防げていません



空気清浄機の設置



ベランダで吸う



換気扇の下で吸う

たばこに含まれる有害物質には、粉じん状や気体状など、さまざまな形態のものがあり、その全てを空気清浄機で除去することはできません。換気扇の下で吸っても全ての煙が排出されるわけではなく、ベランダで吸った場合もサッシの隙間などから室内に入り込んできます。たばこを吸う人の吐く息や服にも有害物質が含まれます。知っていましたか。

～受動喫煙について知っていますか～

人が吸い込んでしまう「受動喫煙」によるもの。何も考えずに「さて、一服」。…ちょっと待ってください。あなたの周りに家族がいたら…子どもがいたら…。家族や周りの人の健康を考えて、禁煙に取り組んでみませんか。

★育児期間中に喫煙する父は約4割、母は約1割

日本の成人喫煙率*の平均は男性32.1%、女性8.5%で年々減少傾向にあります。喫煙率の高い男性を年代別にみると20代が36.7%(第3位)、30代が44.3%(第1位)、40代が44.2%(第2位)と、子育てを行う世代の喫煙率がトップ3を占めます。

※平成26年国民健康栄養調査結果(厚生労働省)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	平均
男	36.7	44.3	44.2	36.5	32.5	15.2	32.1
女	11.8	14.2	12.8	12.2	6.3	2.5	8.5

★喫煙者の配偶者は肺がんリスクが約2倍

ヘビースモーカー(20本/日)の配偶者は、喫煙しない人の配偶者に比べて1.91倍肺がんになりやすい

★子どもへの害はさらに大きいんです

- ・乳幼児突然死症候群のリスクが2～3倍
- ・ぜんそくになる危険性は2.5倍
- ・流産や早産がおこりやすい
- ・小さい赤ちゃんが生まれやすい
- ・知的能力の低下



心身の発達の途上にある子どもは、たばこによる深刻な影響を受けやすいもの。たばこの煙のない空気のきれいな家庭は、大切な家族の健康を守ることにつながります。家族の健康を守るためにも、禁煙をお勧めします。禁煙外来もあるので、病院へ相談をしてみましょう。



秋空の下 ゴールを目指して力走 ～那須塩原ハーフマラソン～

11月3日、快晴の秋空の下、くろいそ運動場を発着点に那須塩原ハーフマラソンが開催されました。ハーフ、5km、1kmの各部で計1,703人が健脚を競い、1,379人が見事完走。北京オリンピック日本代表で活躍したゲストラナー・小林祐梨子さんが「一緒に頑張りましょう」と登場すると、盛大な拍手で迎えた参加者。表彰式では、見事総合優勝を果たした伊藤達志さんが「地元の大会で優勝できて光栄です」と声援に答えていました。



さぁ おうちへ帰ろう ～八郎ヶ原放牧場・収牧～

足腰の丈夫な乳用牛の育成を目的に、市が湯本塩原で運営している八郎ヶ原放牧場。5月下旬に市内の酪農家から預かっていた87頭が立派に成長し、10月下旬、それぞれの実家に帰っていききました。東京ドーム11個分の広大な草原で、のびのびと過ごした牛たち。中には「まだ八郎ヶ原にいたいモ～」と駄々をこねる牛もいました。高原で繰り広げられた綱引きの結果は、迎えに来た飼い主さんが全勝でした。



大人も子どもも学びの祭典 ～なすしおばら まなび博覧会～

宇都宮共和大学那須キャンパスで11月12・13日、「なしお博」が開催されました。この催しは、市民の学習成果の発表・学びの場として、開催されるようになって3回目。開会式の教育功労者表彰(12ページ掲載)に始まり、児童生徒や公民館講座受講者などの作品展示のほか、地球温暖化を楽しく学ぶサイエンスショー、乗馬体験、メイク講座、高校生が読書の魅力を語る催しなどが行われ、来場者は、それぞれ興味のある「学び」を堪能していました。



五穀豊穣を願う激しい祭り ～嶽山箒根神社梵天上げ～

宇都野地区の嶽山箒根神社で、市の無形民俗文化財に指定されている梵天上げが行われました。この行事は、先端に竹かごをつけた根付きの竹に荒縄を巻き付けた「梵天」を、五穀豊穣のために奉納するもの。毎年11月23日に行われ、今年は宇都野や金沢地区などをはじめ、合計6本がもまれました。

若集らによって梵天が激しく地面に叩き付けられながら参道を進んでくると、見物に訪れた人たちからは、大きな歓声が上がりました。



楽しいイベントがいっぱい ～博物館フェスタ～

毎年恒例の博物館フェスタが11月3日に行われました。この催しは、博物館のPRと利用団体・利用者間の交流を目的にスタートして11回目。会場では、古書市やフリーマーケット、はた織り体験、人形劇、親子体験チャレンジなど多くのイベントが開催され、親子連れなどでにぎわいました。

親子体験チャレンジで「かざぐるま」を作った女の子は、羽に風があたり、勢いよく回りだすと、満面の笑みをうかべて見入っていました。



柔軟な発想で 大学生がユニーク政策を提言 ～大学ゼミナール 市活性化プレゼン大会～

歴史ある温泉街を次代に残していくために何ができるのか。大学生がアイデアを競うプレゼン大会が11月20日、板室健康の湯グリーンで開かれました。今年で7回目を迎え、「板室温泉」にテーマを絞って開催した今回は、関東の10大学から計11ゼミが参加。学生たちは8月頃から那須塩原に足を運び、フィールドワークを通してまちに潜む課題を分析し、グループで考えた活性化策を観光協会や旅館の関係者などに提言しました。



那須塩原市
板室の乱
QRコード
↑提案された「板室の乱」ポスター。メンバーで意見を出し合い作成

グランプリは「～板室温泉 vs 塩原温泉～で知名度アップ」を提言した東洋大学経済学部の澁澤ゼミ。全国的にも認知度の高い塩原温泉を利用し、「板室の乱」と銘打って2つの観光地をセットでPRする企画。キャンペーンに合わせて専用のポスターを制作するほか、両方の観光スポットを巡って撮影した写真をSNSに投稿し、宿泊先に提示すると特典が受けられるという提案に、実現性の高さが評価された



表彰される東洋大学・澁澤ゼミのメンバー。入賞したゼミには、那須塩原ブランド品や板室温泉の宿泊券などが贈られた。国際医療福祉大学の学生も参加した

抽選 30名様
読者プレゼントを当てよう
～株大野養蜂園 蜂産品引換券～

＜応募方法＞
広報なすしおばらの感想、取り上げて欲しい話題、珍百景(次ページ)などをはがきか2次元コードからご応募ください。
※発表は発送をもって代えさせていただきます。
※引換券を発送するので店舗で引き換えてください。

応募締切
1月4日
当日消印有効

◆内容がとても楽しくなりました。写真もカラーが多々きれいですね。簡単・手軽に作れるレシピ、季節の素材を利用した一品なんて楽しいと思うのですがいかがでしょうか。
K・Oさん(西三島)70代女性
◆錦秋到来の表紙を見て、現地にいったときの思い出です。
朝に夕べに もみじもみじの
目正月
俳句には季語としてもみじが
たくさん使われています。
S・Iさん(太夫塚)90代女性



スマートフォンなどからの応募はこちら

Q. あなたが好きなコーナーはどれですか？(複数可)

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 表紙 | 2. 特集 |
| 3. 行政 info | 4. タウントピックス |
| 5. 子育て連絡帳 | 6. チャイルドトピックス |
| 7. 健康だより | 8. 図書館へ行こう！ |
| 9. お便りBOX | 10. なすしおばら珍百景 |
| 11. ちっちゃな自然 | 12. 編集後記 |
| 13. げんきびと | 14. ものづくり若人 |

広報なすしおばらを読んだ感想、取り上げて欲しい話題や記事などをお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

POST
お便りBOX

皆さんからいただいたお便りを紹介します。
今後の広報誌づくりの参考にさせていただきます。

◆毎月楽しみに読んでいます。ゆ〜バスを利用したいので、おすすめのコースを紹介してください。いつも車ばかりなので、ゆ〜くりのんびり過〜したいです。
S・Yさん(四区町)60代女性
◆表紙をいつも楽しみにしております。今回の紅葉、なんとも言えない色できれいです。けれど、少し先の事を考えると寒い冬が来るんだなああって、嫌だけど自然なので仕方ないですね。珍百景のような目販機あるんですね。見てみたいですね。チャイルドトピックスのリング狩り、自分で取ったリングはとても美味しかった事でしょうね。
F・Fさん(埼玉)60代女性
◆内容がとても楽しくなりました。写真もカラーが多々きれいですね。簡単・手軽に作れるレシピ、季節の素材を利用した一品なんて楽しいと思うのですがいかがでしょうか。
K・Oさん(西三島)70代女性
◆錦秋到来の表紙を見て、現地にいったときの思い出です。
朝に夕べに もみじもみじの
目正月
俳句には季語としてもみじが
たくさん使われています。
S・Iさん(太夫塚)90代女性

◆毎回楽しみに愛読しています。私は前から矢板の広報誌のファンで、那須塩原市も矢板のようになればと願っています。今後の希望としては表紙に毎回みるひいを。あとは、両号ともカレンダー(大人用と子ども用)としていただくと、素敵で楽しい広報誌になるのではと思っています。
M・Mさん(永田町)50代女性
◆病院へ行った帰り、野崎駅から下り電車に乗りました。夕方の電車だったので学生さんでいっぱいでしたが、学生さんが席を譲ってくれたり、駅で降りる際にも助けてくれました。私はまだ元気ですが、こんなに親切にされたのは初めてで、とても嬉しく驚きました。高齢者をいたわる若い方々であられる那須塩原。ますます頼もしく住み良い市になることと思います。
T・Kさん(西大和)70代女性
◆私は会津より越えてきて10カ月になります。道を歩いていると、小学生や若者も高齢者の私にあいさつをしてくれます。このまちの優しい人柄を感じます。人として生きる基本がよく出来ており、それは素晴らしい街づくりによるものなのでしょう。生きるとはこういうことなのだと感じています。
M・Tさん(黒磯)80代女性
◆盛りだくさんの内容に胸をワクワクさせながら読んでいます。紅葉も家に居ながらにして楽しめました。忙しにかまけてなかなか紅葉狩りにも行きませんが、巻末のページも今年で2度目になります。大変なごやがさに驚いています。これからの広報誌に期待しております。
H・Sさん(青木)70代女性

その他にも、たくさんのお便りをいただきました。ありがとうございました。

※いただいたご意見は、内容を変えない範囲で添削させていただく場合があります。
※紙面の都合上、掲載できない場合がありますのであらかじめご了承ください。

図書館HP



図書館へ行こう！

いよいよ師走。図書館は30日まであいてます



NEW!

『ル・コルビュジエが見たい！』
著：加藤 道夫 洋泉社
世界遺産に登録された国立西洋美術館は近代建築の巨匠、ル・コルビュジエの作品の一つ。その他の作品も豊富な写真で紹介されており、彼の建築に寄せる思いが詰まった1冊
西洋建築の世界を堪能しよう！

『化粧の日本史 美意識の移りかわり』
著：山村 博美 古川弘文館
化粧をする意味を考えたことはありませんか？ おしゃれ、みだしなみのため？ 古代から現代にいたる日本人の美意識が流行の背景から見ていく興味深い1冊
知って楽しいメイクアップの変遷！

『東京23区地名の由来』
著：金子 勤 幻冬舎
東京23区内、416箇所の地名の由来を紹介。地形の変遷や歴史もわかる1冊。これを読んでから東京を訪れてみると、いろいろ発見できるかもしれません。
首都東京、再発見！

『学校では教えてくれない ゆかいな日本語』
著：今野 真二 河出書房新社
「イライラする」「イラ」って何？「サワサワ・ザワザワ」の違いって何？『徒然草』に隠された謎って？ 日本語の面白さが詰まった1冊です
ゆかいな日本語の世界へご案内！

『あるアーティストと悪がきだった僕のこと アルル時代のファン・ゴッホの物語』
作：シェーン・ビーコック 訳：おび ただす 六耀社
絵：ソライ・カーソン
「ひまわり」で有名なヴィンセント・ヴァン・ゴッホ。人から変人と言われ、子どもからもかわれていた晩年の様子が少年の目を通して描かれています
鮮やかな黄色が印象的な絵本

『ライオンのおじいさん イルカのおばあさん』
著：高岡 昌江 学研プラス
今、動物園・水族館には人間と同じようにお年寄りの動物がたくさんいます。日本で最高齢のイルカやキリンなど、7頭の動物について飼育員から聞いた話です
動物たちの歩んできた長い「人生」に触れてみませんか

イベント情報

「この本よんでみて！ コンテスト2016」入賞作品を展示します

小・中学生が読書への関心を深め、家庭での読書を習慣づけてもらうために市立図書館が実施しているコンテスト。1,230点の応募作品の中から選ばれた作品を展示します。

- ▶とき・ところ
・12月23日(金)～1月15日(日)
西那須野・黒磯・塩原図書館、市役所本庁舎・西那須野庁舎・塩原庁舎
・1月5日(木)～12日(木)
那須野が原博物館エントランスホール

▶その他
展示期間・場所は変更になることがあります



お話し会と工作会 「スケルトン雪だるま」を作ろう

お話し会の後に工作会を行います。ハサミを使った作業はないので、小さな子どもでも安心して参加できます。

- ▶とき 12月17日(土)
午前10時30分～11時30分
▶ところ 塩原図書館
▶対象 小学生以下
▶参加費 無料



▶問い合わせ 西那須野図書館 ☎(36)6001 黒磯図書館 ☎(63)9031 塩原図書館 ☎(48)7521

アザミは不思議な生態 ～ノハラアザミ～



上から見た花(雄性期)



ノハラアザミの花(雌性期) 撮影時期:2016.10.2 撮影場所:寺子豊岡地区

ノハラアザミって?

キク科 *Cirsium oligophyllum*
頭花のすぐ下まで葉がついていて、総苞が鐘形をしているのが特徴。明るい水田のあぜなどに咲いている



ノアザミ(中塩原・谷地畑地区)

今年も早いもので12月、もう最後の月になりました。皆様にとっても1年だったでしょうか。今年も、天候に恵まれず、私にとっては思うように山に出かけることが難しかった年でした。それでも雨の合間を縫って、できるだけ山に出かけ、植物を調べたりし、それなりの成果を上げることができました。

今年も早いもので12月、もう最後の月になりました。皆様にとっても1年だったでしょうか。今年も、天候に恵まれず、私にとっては思うように山に出かけることが難しかった年でした。それでも雨の合間を縫って、できるだけ山に出かけ、植物を調べたりし、それなりの成果を上げることができました。

今年も早いもので12月、もう最後の月になりました。皆様にとっても1年だったでしょうか。今年も、天候に恵まれず、私にとっては思うように山に出かけることが難しかった年でした。それでも雨の合間を縫って、できるだけ山に出かけ、植物を調べたりし、それなりの成果を上げることができました。

今年も早いもので12月、もう最後の月になりました。皆様にとっても1年だったでしょうか。今年も、天候に恵まれず、私にとっては思うように山に出かけることが難しかった年でした。それでも雨の合間を縫って、できるだけ山に出かけ、植物を調べたりし、それなりの成果を上げることができました。

編集後記

空き家には、かつてそこで暮らした人の物語が詰まっていた。子どもの成長や、兄弟との思い出、夫婦での暮らし。それは、人によってさまざまですが、1つ言えるのは、思い出の場所も放っておいたら朽ち果てて色あせてしまうということ。かつての“夢のマイホーム”も、場合によっては“負の遺産”になってしまいます。

日本にある820万戸の空き家。その数はこれからも増え続けると予想されています。未来の子どもたちに負の遺産を残すことがないように、これから先のことを考えるのが今を生きる私たちではないでしょうか。自分も将来は空き家の所有者になりうるので、他人事ではいられないのだと、取材を通して感じました。(平石)

珍百景

あなたの“珍”を募集中

＜応募方法＞

方法① きらきらホット
なすしおばらに投稿
珍百景投稿用フォームに
必要事項を入力。



方法② シティプロモーション課に電話
☎0287(62)7109

●必要事項

住所、氏名(ペンネーム)、電話番号、年齢、性別、珍百景写真、タイトル、撮影日、コメント(100字程度)

●注意点

※人権侵害、政治・宗教活動、意見広告や宣伝につながるものなど、掲載できない内容があります。
※内容を変えない範囲で添削する場合があります。
※被写体の人物または所有者などに許可を得てから応募してください。
※インターネットなどからの転載はご遠慮ください。
※応募いただいた写真は市の情報発信活動に使わせていただく場合があります。

ぶらさがる大根の謎



投稿者 コバさん(20代男性 共豊社)
撮影場所 塩原(撮影日 H26.11.7)

2年前、塩原に紅葉を見に行った時のこと。紅葉の名所である紅の吊橋手前の柵に、いい感じに仕上がった大根が…。始めは何かの願掛けかと思いましたが、祭りの一種だったとは。それ以降、大根を見る度にこの光景を思い出すのです。

～今月の読者プレゼント～

～ミツバチからの贈り物～ 株大野養蜂園の蜂産品引換券

※店舗で次のいずれかを選択いただけます。



昭和21年に創業した純国産はちみつ直売専門店。那須野が原で採れた天然はちみつと、国内各地で採れた天然はちみつを、一切の加工を施すことなく皆様にお届けしています。他にはローヤルゼリーやプロポリス、みつばち花粉などの蜂産健康食品も製造・販売しています。

株大野養蜂園 所在地 野間125-1
☎0287-64-3838 営業時間 9:00～18:00
休業日 年末年始(12月30日～1月3日)



※プレゼント品を提供いただける事業者を募集しています。
詳しくは☎シティプロモーション課☎0287(62)7109まで。

3 2 5 8 5 0 1

お手数ですが
52円切手を
貼ってください

那須塩原市役所 シティプロモーション課 「広報なすしおばら係」行

ご住所

お名前(掲載する場合は実名ではなく、イニシャルで掲載します)
ペンネーム
(希望者のみ)

☎電話

年齢 歳 性別 男 女

読者プレゼントに応募しない場合は☑をいれる 応募しない

なすしおばら げんきびと 元気人

あなたの身近な
元気を募集中



>>> 那須塩原市食生活改善推進員協議会
理事

No. 32 大木 弘子 さん

本協議会副会長を経て今年4月から現職。保健指導の際に案内された食生活改善推進員の養成講座を受講し、平成23年度から食改として活動を開始。催しでの啓発活動では、一人一人丁寧に声をかけるのが彼女のモットー

Pick up



現在30～80代の計81人がメンバーとして活動。本協議会の活動が今年6月、農林水産大臣賞を受賞。若年層へ向けた活動の成果が評価された



11月に行われた三島中学校の生徒と高齢者の交流会。まんじゅう作りでは、食改メンバーが調理をリードし活躍



「オススメの減塩方法は酢を使うこと」と大木さん。「野菜をたくさん摂取するには温野菜がオススメ」など、親身になって食のアドバイスしてくれる

座などを行っている。彼女が重要視するのは、若年層への呼びかけ。「習慣を変えるのは簡単ではありません。だからこそ健康の維持は若いうちから重要だと考えます」。

大木さん自身、昔は不規則な食生活を続けていた時期があり、健診で生活習慣病を指摘されたことが意識を変えらせたきっかけになった。

「食生活を見直すにはきっかけが必要です。その1つの方法が、家庭の味噌汁の塩分濃度測定。一度測ってみると色々と気づきがありますよ」と語りながら、自治会の催しでの測定結果を見せてくれた。100人中8割以上の人が、適塩濃度を上回り、中には2倍以上の数値の人もいる。

「外食の濃い味に慣れてしまうと、それが家庭の普通になってしまいます。濃い味を好む方は多いのですが、塩分の過剰摂取がどれだけに負担をかけるか考えてほしいです」と続ける。

他にも栄養バランス、カロリーコントロール、食事の時間帯などにも気を付けたい。健診結果を見てショックを受ける前に、日々の食生活を見直した方が楽々、彼女は体験談を訴えた。

70歳を超えた今でも健康体で、精力的に活動を続ける大木さん。そんな彼女が作る味噌汁は、少し薄味だが、とても体に優しい味だ。

「私たちの健康は私たちの手で——
「自分は大丈夫」と安心していませんか



膝を痛めるまでは毎日1時間のウォーキングも続けていた。「食改の大木さん」として、子育てママや地域の皆さんから慕われている

自分の食べたいものを好きなだけ食べる…皆さんは心当たりないだろうか。食生活の乱れが健康に及ぼす影響は多大。食を見直すことで健康を維持する、こうした考えの下、食生活改善の普及啓発に取り組む大木さんに話を伺った。

食生活改善推進員(通称:食改)は、食を通じた健康づくりを呼びかけるボランティア。生活習慣病が増加の一途を辿る社会で、年々その存在感を増している。大木さんが所属する地区では、自治会の催しや子育てサロンなどを中心に、味噌汁の塩分濃度測定や料理講

*汁物の適塩濃度は0.6～0.8%とされている(女子栄養大学・調理学研究室 調理科学研究室編 塩分の調味パーセントによる)